

9月27日(金曜日)タイムテーブル

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
	ホール(ホール棟1F)	大会議室(会議棟3F)	大集会室①(会議棟2F)	大集会室②(会議棟2F)	第5+第6会議室(会議棟3F)	多目的ルーム(会議棟1F)
9:30	9:30~9:40 開会式					
9:40	9:40~10:30 大会長講演 「私たちが目指すもの これからの家族療法、これからの 家族療法家」 【大会長】小笠原知子 【司会】児島達美					
10:40	10:40~12:10 招聘講演 「WHY FAMILY THERAPY IS NEEDED IN TODAY'S WORLD」 【講師】William J. Doherty					
12:10	昼休み(12:10~13:40)					
13:40	13:40~15:40 【大会企画シンポジウム①】 国際共同企画 「アジアの家族療法の未来 Future of family therapy in Asia」 【パネリスト】 大西真美(日本) Bora Jin(韓国) Ying Ju,Ci(台湾) 【指定討論】 William J. Doherty 【座長】 田村毅 森野百合子 【通訳】 菊谷まり子 Susan May	13:40~14:40 【スーパービジョン①】 S-01「異動した学校教員が直面 する「やりにくさ」との付き合い 方」 (宮島大輔)	13:40~14:40 【一般演題①】 P-21「母親を巻き込んだ確認作 業がやめられない思春期女性 への家族療法—家族志向ケア を学んだ家庭医が精神科研修 で経験した一例」 (志水健太) P-22「プライマリケアの在宅医療 における心理職の役割」 (小早川留衣) P-25「発達特性に基づく支援を 行ったことで家族関係を改善し、 自宅まで最期まで過ごすことが できた一例」 (田中道徳)	13:40~15:40 【自主シンポジウム①】 V-01「組織に所属しての臨床・ 支援活動について—ナラティブ・ アプローチ実践の困難と希望」 (小池武・平栗富美子・ 荒井浩道)	13:40~15:40 【自主シンポジウム②】 V-05「患者と家族に対するナラ ティブなグリーフワーク 過去・現在・未来、そして、家族 と故人を紡ぐ「希望」を処方す る」 (田代順・西澤有喜子・ 大西郁子)	13:40~15:40 【自主シンポジウム③】 V-09「スクールカウンセラーと養 護教諭の効果的な連携・協働に ついて考える」 (岩崎和子・村上雅彦・ 佐藤牧子・渡辺俊之・ 田村毅)
14:45		14:45~15:45 【スーパービジョン②】 S-03「通級による指導における 教員同士の関係」 (松原英司)	14:45~15:45 【一般演題②】 P-03「在宅療養者とのディグニ ティセラピーがその周囲の人に 持つ意味—家族・友人・専門職 の語りから」 (無藤清子) P-12「医師の治療の枠組みを共有 した看護師が短時間面談を行 い患者の治療意欲が回復できた 一例」 (塩田政智) P-20「夫婦で協力的対話をする ための文脈構成に関する一考 察—夫の発達障がいと問題と 語る夫婦への対応」 (大平厚)			
15:55	15:55~17:55 【大会企画シンポジウム②】 「認知症患者家族への支援 専門家の「私」と当事者である 「私」」 【シンポジスト】 松本一生 恩蔵絢子 小笠原知子 菊谷まり子 【指定討論】 上別府圭子 【座長】 渡辺俊之	FTAB	15:55~16:55 【事例検討①】 K-01「治療が停滞した事例への 対応」 (岩田尚大)	15:55~16:55 【一般演題③】 P-08「児童精神科クリニックでの 短時間精神療法の実践—登校 渋りの中学2年男児と両親の症 例—」 (宋大光) P-09「神経性やせ症の女子高校 生と母親との面接過程」 (村松京香) P-27「コンセンサス・ロール シャッハを用いた超短期の夫婦 との治療的アセスメント」 (中村紀子)	15:55~17:55 【自主シンポジウム④】 V-03「みんなで語ろう。これからの 家族療法—異業種で考える 家族療法のアイデア—」 (高橋候輔・神谷俊介・ 川合佑典・布施裕美子・ 宮本茜・大井雄一)	15:55~17:55 【特別企画②】 倫理委員会企画 「家族療法・倫理の語り場」 【シンポジスト】 半澤利一 大瀧玲子 岡本潤子 数垣将 【座長】 阿部幸弘
17:00			17:00~18:00 【事例検討②】 K-03「危機」を訴えた夫婦面接 についての一考察」 (辻本聡)	17:00~18:00 【一般演題④】 P-14「母との関係に悩む女性と の面接過程—関係者を視野に 入れた両面性への対応—」 (山元彩美) P-19「相互作用の変遷を治療に 用いることについての一考察」 (崎山勇太) P-24「対人相互作用の変更に過 去の過酷な体験をどう活用する か」 (尾形広行)		
18:30	18:30~20:30 研究交流会 金沢ニューグランドホテル 4階大宴会場「金鳳」					